

第11回 脳科学研究教育センターシンポジウム

「快・不快の神経基盤の解明と応用」

平成25年11月29日(金)

午後1時～午後6時(午後12時30分受付開始)

北海道大学医学部学友会館フラテ・ホール(札幌市北区北15条西7丁目)

入場無料・参加申込み不要

13:00～13:15 挨拶 吉岡 充弘 (脳科学研究教育センター長)
新田 孝彦 (北海道大学理事)

セッション1 (13:20～14:40) ; 快・不快の神経基盤

「痛みによる不快情動生成における分界条床核の役割」

南 雅文 (北海道大学薬学研究院・脳科学研究教育センター)

「快・不快の神経基盤：中脳ドーパミンニューロンと外側手綱核の役割」

松本 正幸 (筑波大学医学医療系)

セッション2 (14:55～16:15) ; 快・不快のイメージング

「情動音やその予測に伴う脳活動のMEGによる評価」

横澤 宏一 (北海道大学保健科学研究院・脳科学研究教育センター)

「うつ病における行動賦活系と行動抑制系」

井上 猛 (北海道大学医学研究科・脳科学研究教育センター)

「味覚・内臓感覚刺激による快不快情動を小動物用fMRIで探る」

釣木澤 朋和 (味の素株式会社イノベーション研究所)

セッション3 (16:30～17:50) ; 快・不快の行動神経科学の社会応用

「情動の神経基盤研究を応用したニューロマーケティングの取組み」

山川 義徳 (NTTデータ経営研究所マネジメントイノベーションセンター)

「快・不快の行動神経経済学」

高橋 泰城 (北海道大学文学研究科・社会科学実験研究センター・脳科学研究教育センター)

17:50～18:00 挨拶

企画担当：北海道大学大学院薬学研究院・薬理学研究室 南 雅文

問い合わせ先：北海道大学脳科学研究教育センター (brain@med.hokudai.ac.jp, 011-706-5022)